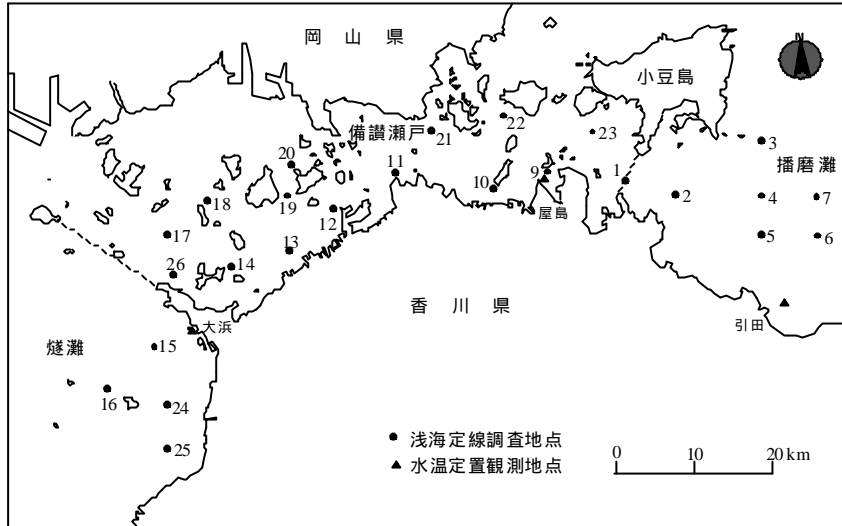


香川県漁海況速報 平成14年10月 (H14- 7号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成14年10月2日(播磨灘)、4日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「やや高めからかなり高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「平年並みから著しく高め」、溶存酸素は「かなり低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.5	25.5	25.4	32.3	32.6	32.7	6.0	4.25	4.18
	平年値	24.8	24.6	24.6	31.6	31.6	31.6	6.8	4.53	4.15
	平年偏差	0.7	0.8	0.9	0.8	1.0	1.0	-0.7	-0.28	0.03
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	25.5	25.4	25.4	32.6	32.6	32.6	3.7	4.14	4.15
	平年値	24.7	24.7	24.6	31.3	31.3	31.6	3.6	4.38	4.21
	平年偏差	0.8	0.7	0.8	1.3	1.3	1.0	0.1	-0.24	-0.06
	状況	やや高め	やや高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	26.1	25.5	25.5	32.4	32.7	32.8	13.3	4.31	4.19
	平年値	24.9	24.6	24.5	31.5	31.8	31.8	7.2	4.95	4.25
	平年偏差	1.2	1.0	0.9	0.9	1.0	0.9	6.1	-0.64	-0.06
	状況	かなり高め	かなり高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく高め	かなり低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

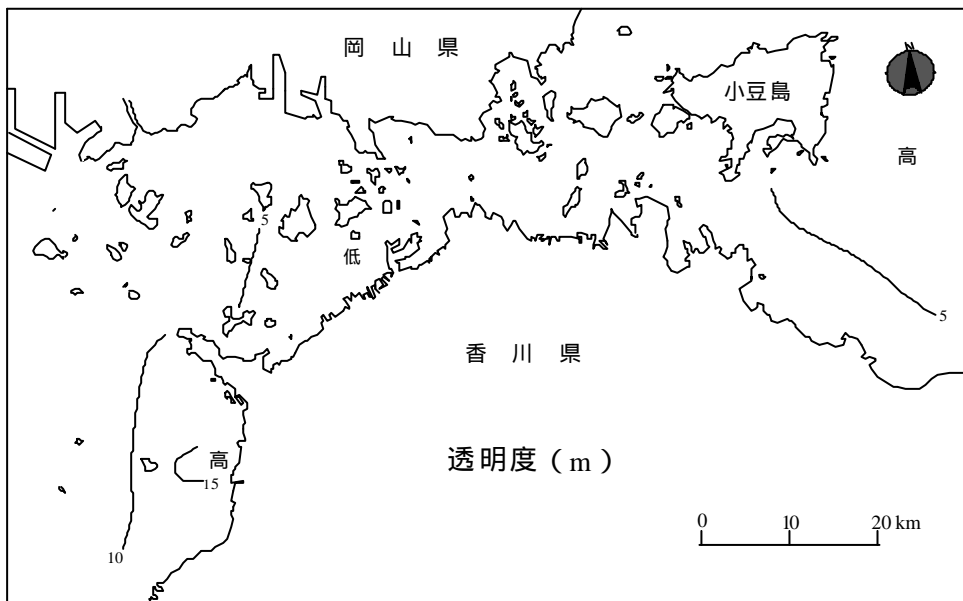
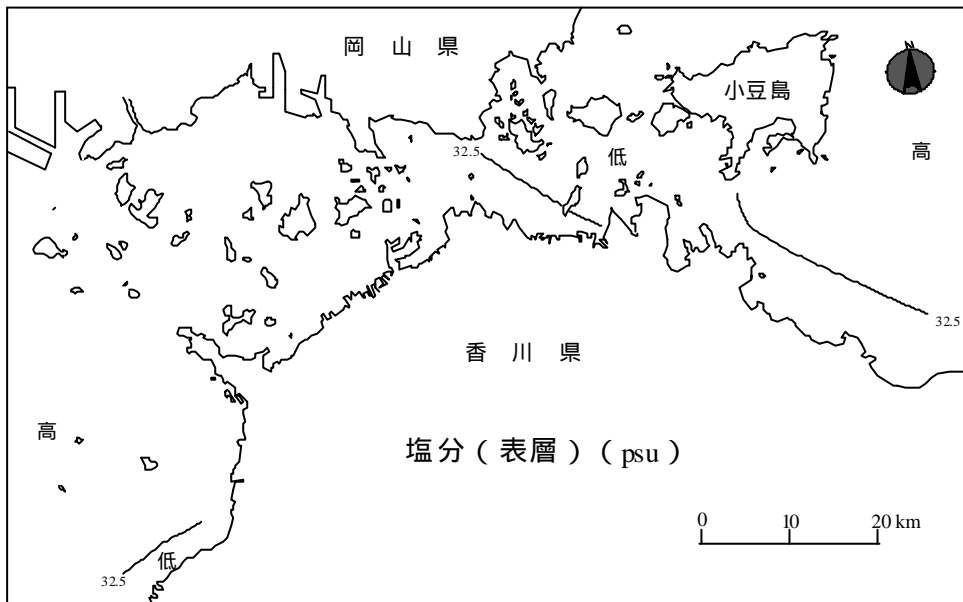
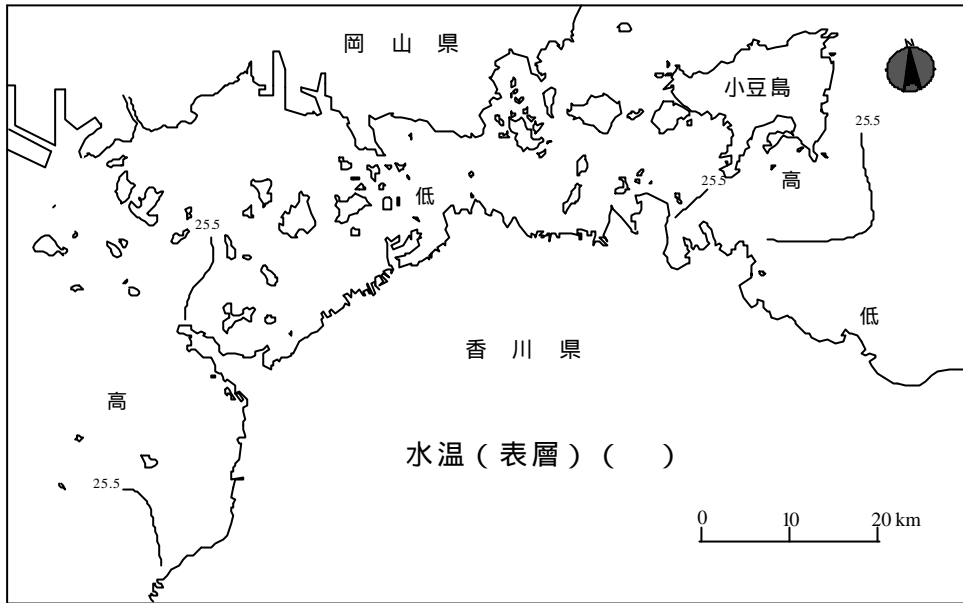
平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成8(1996)年度

透明度：昭和58(1983)～平成8(1996)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6
やや高め(やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3
かなり高め(かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0
著しく高め(著しく低め)	2.0	平年偏差
		: 標準偏差



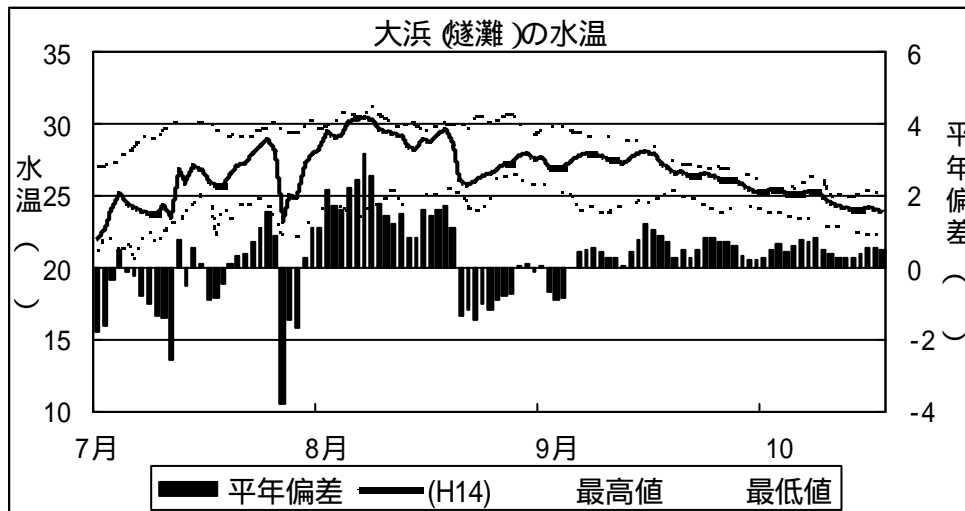
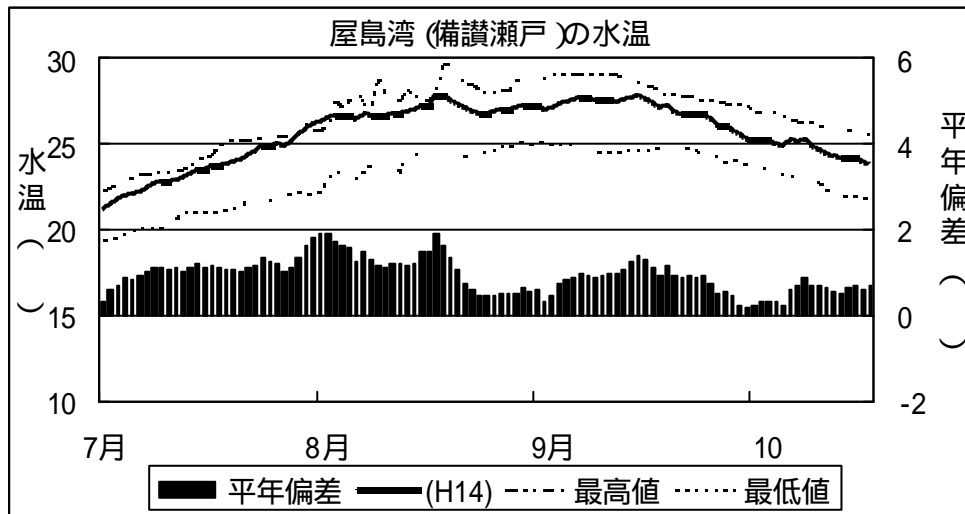
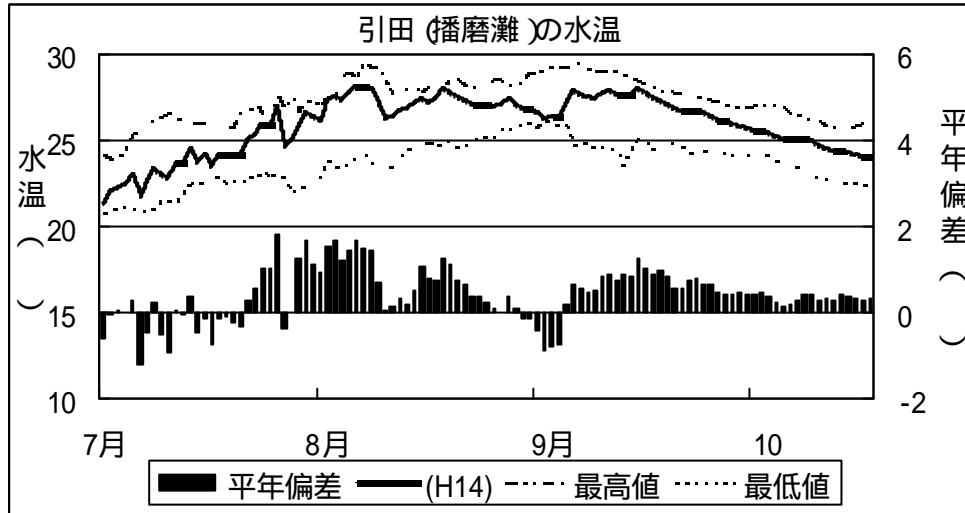
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 9月中旬に1 前後で推移していた平年偏差が下旬から10月上旬にやや小さくなり、その後0.5 前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 9月中旬に1 前後で推移していた平年偏差が下旬から10月上旬にかけて小さくなっていったが、その後やや上昇に転じている。

燧灘(大浜): 9月中旬に1 前後に大きくなっていった平年偏差がその後変動しながら小さくなり、0.5 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成12(2000)年
屋島: 昭和50(1975)~平成12(2000)年



3) 赤潮

播磨灘：9月下旬から10月上旬にかけて、西部（内海湾）で *Gonyaulax polygramma* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：10月中旬、西部で *Mesodinium rubrum* の赤潮の発生があった。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成14年10月2日（播磨灘）、4日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量 個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.88	3.38
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.47
燧灘平均	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.57	1.29
総平均	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.97	1.43

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.0%	0.0%	-	-
備讃瀬戸平均	0.0%	0.0%	-	-
燧灘平均	56.4%	0.0%	-	-
総平均	10.8%	0.0%	-	-

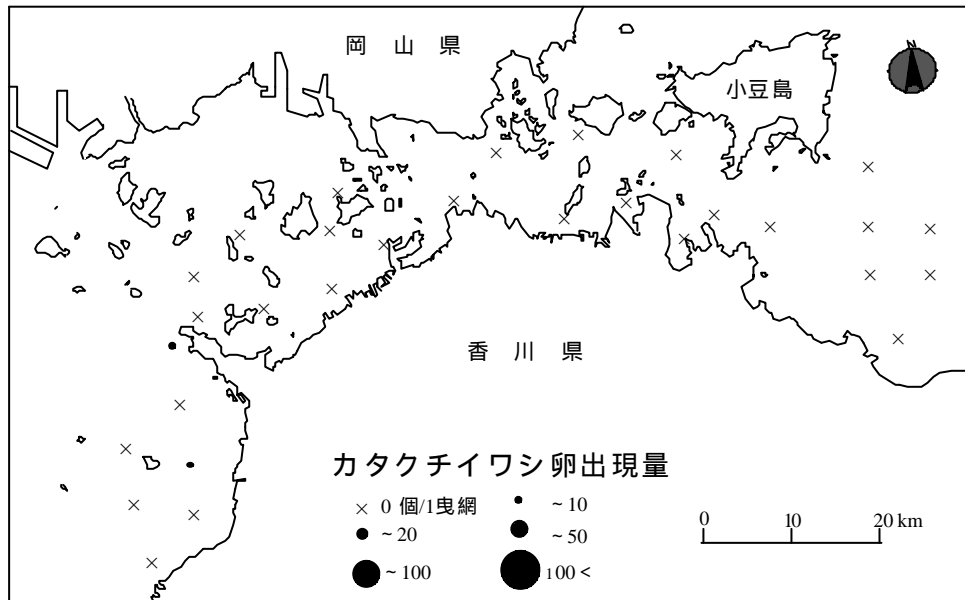
- : 平年値が 00 の場合を示す。

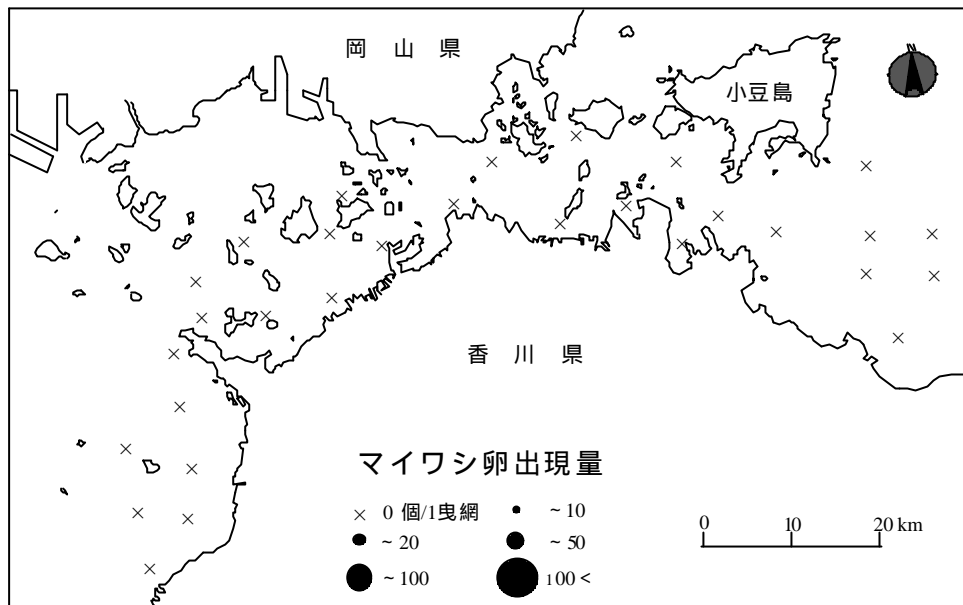
平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和 55（1980）～平成 12（2000）年度

マイワシ：平成 5（1993）～平成 12（2000）年度

マイワシの卵稚仔は、全ての調査地点で採集されなかった。





2. 漁況

9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底曳き網では主にイボダイ、小型イカ、小エビ、カマス類、シャコが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、ウルメイワシは好漁が維持されており、大型定置網ではタチウオ、マサバ(0歳魚)が漁獲されている。</p> <p>船びき網のシラス漁は、9月中旬頃からまとまった漁獲がみられはじめ、10月にはいっても漁獲量は減少したものの漁獲が続いている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底曳き網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、エビ類、小型イカ類、マダコが漁獲されている。特に、マダコは前年9月に比べ5倍の漁獲があった。</p>
燧 灘	<p>底曳き網では主にカマス類、エビ類、マダコ、シャコ、アカガイ、小型イカ類が漁獲されている。</p> <p>平成14年のいわし機船船びき網のカタクチイワシ漁は9月26日で漁期は終了したが、漁獲量で対前年比128%、2,374トと平成4年以降最も良好な結果となった。</p>